

西建協だより

219号

2012年
10月



震災対応訓練報告

災害対策特別委員会 委員長 古屋 英司

本年度より災害対策特別委員会の委員長を仰せつかりました、小河内建設株式会社の古屋と申します。

西多摩建設業組合は災害時における道路啓開協定を東京都と結んでおり、九月三日に巡回訓練を実施しました。

当日は西多摩管内の七十一の主要路線を各担当業者が自主的に巡回し、異常箇所の有無を報告していただきました。

この訓練の実施結果は、道路管理者である東京都西多摩建設事務所長様に報告しました。

東京都と当組合が結んでいる「災害時における応急対策業務に関する協定」は、平成七年一月十七日に発生した阪神淡路

大震災を機に平成八年に取り交わされました。

それ以来、諸先輩方の努力によりこの訓練は継続されてきました。

訓練を継続的に実施することで、防災への意識が高まり担当路線の危険箇所が予測できるのではないのでしょうか。

今回の訓練はいっ起ころかもしれない災害に備えて緊張感を持って実施できたと思います。組合員の皆様の社内やご家庭でも、災害発生時の連絡手段や避難先等を再度確認され、慌てずに行動できるように心掛けていただければと思います。

最後に、訓練にご協力いただいた組合員の皆様に改めて感謝申し上げます。

事業委員長就任のご挨拶

本年六月より、事業委員長に就任致しました(有)宮崎土木の宮崎と申します。役員をはじめ、会員各社の皆様にも多く参加頂くイベントの企画・運営する委員長として、皆様のご意見を頂きながら勤めさせて頂きます。

先日、開催致しました経営講習会には多くの皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。また、開催に際しご協力いただきました東日本建設業保証株式会社新宿支店様に改めて感謝申し上げます。

本年度より委員会の再編に伴い、当委員会の運営する内容も一部変更や新たな役割を担うこととなりました。

十月末日(研修・総会)に予定しております、西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会の運営も総務委員会より当委員会となり、西建協ホームページの運用更新など、組合運営の更なる充実に関与するよう努める所存です。また、恒例となり第二〇回を迎えます地区対抗ソフトボール大会も十一月十

理事 宮崎 一二三

日に予定しておりますので、組合員はもとより賛助会員の皆様も交流の場、心身リフレッシュの機会として、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

私たち建設業界を取り巻く環境は、目まぐるしく変化し、もがきながら対応してもまた新たな壁がまた立ち上がるような、そんな日々をもうずっと何年も過ごしているように思います。

未だそのような厳しい環境の中ではありませんが、組合活動を通じて、会員の皆様に少しでもお役に立てるよう力し指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

施工体験記

道路改修工事及び電線共同溝設置工事

(西一畑中の5)

(株)酒井組 現場代理人 久保田 徹郎

最初に、今回名誉ある賞を頂き私自身の今後の大きな励みとなり、うれしく思っています。

又、関係者各位に大変感謝しており、心より厚くお礼申し上げます。

この度、表彰工事現場の施工体験記ということで私自身が特に感じた点を書かせてもらいます。

まず、工事概要を簡単に説明しますと発注は東京都西多摩建設事務所(青梅工区)、工事場所は吉野街道の青梅市畑中地内です。

主な工事内容は、約500m間内での街築全般・舗装・電線共同溝・他付帯工事であり、今回はその5工事となり来年、再来年と続いていく工事でありました。

特殊な工事は特にありませんでしたが、特に気を使った3点を上げてみました。

- ①工事延長が約500mと長いため、完成までの間の安全管理
- ②競合企業者工事との調整
- ③沿道住民へのお知らせ

①に関しては工事期間中保安の不備、乱れ、歩行者通常帯の段差、車両通行帯の陥没等を毎日、朝夕よく確認し、現場最盛期や天候不良の時は休日見廻りをし、第三者の無事故に努め、競合企業者工事部分も含めて監視しました。ごく当たり前の事ですが、現場延長が長い分非常に根気を要しました。又、担当工区、事務所関係者から細かいご指摘をも多々頂き、これに対して早急に改善に努めました。これらの安全管理に順応してくれた協力業者の皆様には大変感謝しております。

②にかんしては競合企業者工事の関係で着手が1ヶ月以上遅れましたが、その後、綿密に調整させてもらい、無事工期に収めることが出来ました。競合企業者、工事の関係者のご対応、ご協力には大変感謝しています。

③にかんしましては枝道、民地出入口、駐車場が多く、工事期中頻繁に通行止めが発生しました。

(2面につづく)



施工体験記

道路維持工事(緊急施行) 二十三西の4

東京機工土木(株)

現場代理人 神山 隼一

この度は、平成二十四年度西多摩建設事務所長の賞の栄誉を賜り、個人並びに会社といたしまして、身に余る光栄と深く感謝しております。

ここに公の紙面を利用して頂き恐縮ではございますが、御礼を申し上げます。

今回の工事は、青梅市内から国道四一―一線(通称滝山街道)をあきる野方面に向い新満地トンネル手前の右側斜面において、折からの台風十二号の影響により地滑りが発生し、滝山街道が土砂で覆われ通行止になった箇所の復旧工事です。

諸問題山積みの中で、最初に斜面上の落下しきれずに残置している崩落土砂の撤去方法の選択です。人力、機械(レッカー+ゴンドラ)、機械(クライミングマシン)等が考えられましたが時間との勝負であり、躊躇なくクライミングマシンを選択いたしました。

二十度から四十度程度の急勾配の斜面上を二本のワイヤーロープを頼りに上下左右自在に移動する様は、理論上安全とは理解していても、心の中でこの仕事早く終わってくれ」と祈る思いでした。

次の課題として、全面開方は何時ごろになるのかとのことです。各工種の実際のボリュームはいかほどなのか。過去の実績から割り出し、図面に

現地の状況を入れ込み、推測での数量の算出等々で全体工程を作成しましたが、ここで更なる問題点が発生しました。台風十二号の影響は西多摩建設事務所管内だけでなく、全国各地に多大な被害を及ぼし、復旧工事で使用するロックネット等の部材の生産が間に合わず、どの地区でも順番待ちであるとのこと。加えて技術者も不足の状況でした。技術者については、他の現場の予定を後回しにして対応し、部材については、メーカーにお願いして生産ラインに割込ませていただき、何とか最後の約束工期に間に合うことができました。

十一月十五日午後四時の全面開通で、上下線の車の流れを見た時、そして西多摩建設事務所の皆様からの『お疲れ様。ありがとうございます。』の言葉を頂いた時、達成感と充実感を味わわせていただきました。

最後に全工期無災害で終わることができたのも、西多摩建設事務所の関係職員様を初め、近隣住民のご理解並びに協力会社の寝食を忘れてのご尽力に付きまして、心より感謝申し上げます。



◎第二十回地区別対抗ソフトボール大会

日時 十一月十日(土) 午後二時～ 雨天中止 事業委員会
 会場 青梅市民球技場野球場(河辺下河川敷)
 実行委員
 ・奥多摩地区：小池啓太(小池建設株)
 ・青梅地区：榎本義輝(東京機工土木株)
 ・羽村地区：田村 聖(株田村工務店)
 ・秋川流域地区：高木直哉(高木建設株)

*組合員、賛助会員の皆様参加下さいますようご案内申し上げます。
 参加申込等は地区実行委員まで事前に連絡をお願いいたします。



◎西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会
 平成二十四年度研修(講演)及び総会開催のお知らせ

月日 平成二十四年十月三十一日(水曜日)
 会場 福生市民会館 小ホール
 研修(講演) 午後二時～三時三十分
 講師・警視庁組織犯罪対策第三課
 ・ビデオ上映 タイトル「決別への道！」
 ・講演、質疑応答
 第七回総会 午後三時四十五分～四時二十分



中には迂回路の無い枝道もあり、どうしてもというときには近くのセブンイレブン様のご協力により、対象住民の車をおかせて頂くこともありました。
 チラシによるPRはもちろんのこと、できるだけ会話をもつことで、地域の情報を集め、又、規制内容等をよく熟知してもらうように努めました。
 数年前から続いている事業により、沿道住民の皆様には工事へのストレスもかなりあると思われませんが、諸事情を理解の上、多大なご協力を頂いたことを心から感謝しています。
 最後に、現場は上記のように色々な方の協力の上に成り立っていると思いますので、感謝の気持ちを忘れずに今後も取り組んでいこうと思います。

(株)酒井組 現場代理人 久保田 徹郎

施工体験記

除雪作業委託(緊急施行)奥の1
 峰谷建設(株) 現場代理人 酒井 卓真

この度、東京都西多摩建設事務所より平成23年度優良工事として感謝状を頂き、一昨年の平成21年度建設局長表彰に引き続き除雪での受賞、大変名誉なことと感謝しております。
 この委託の内容は、奥多摩周遊道路の三頭橋から月夜見第二駐車場までの11.1kmの除雪及び融凍材散布でした。事前に監督員から指示を受けて作業にあたり、基本的には積雪や凍結の可能性があれば朝6時に作業開始し、通行止めの早期開放を目指すものです。
 この作業の難しいところは三頭橋と月夜見第二駐車場では高低差が約600mあるため、上と下ではだいぶ条件が異なり、何年やっても予想とは違う場合が多いこと。また道路の勾配がきつく水分が流れてしまうためか、少しでも融凍材を散布しすぎると路面が白くなりスリップの原因になってしまいました。

そのため、今までの経験からその日の気温や日当たり等を考慮しながら慎重に融凍材散布を行うことで一度も路面を白くすることなく施工することが出来ました。

平成23年度は一回の積雪量は多くないものの、頻りに降雪があり、一日かけて除雪及び融凍材散布しても夜にはまた降雪し、また最初からということが何度もありました。一冬を通じての出動回数も47回と過去数年間では一番多かったように思います。そんななか無事にこの委託を終えることが出来ましたのも建設局の監督員や関係職員の方々をはじめ、協力会社、地域住民の皆様のご協力のおかげと感謝しております。

最後に、余談ですが、平成21年度の表彰式の日には第一子の長男が生まれ、今回はまさかなと思っていたら、また表彰式の日には緊急帝王切開で第二子の次男が生まれ2つの意味で喜ばしい日となりました。
 本当にありがとうございました。



9月事業報告

- 3日 道路啓開協定業者の自主的出動・緊急巡回訓練実施
 対策本部設置対応 午前8時～9時
 例年通り西建協として、災害が発生した時の緊急道路啓開業の対応をスムーズに実践し初期の目的が達成出来る様、訓練等を実施し各協定業者の意識の向上を計る。
- 6日 三多摩建設業連合会 正副理事長出席
 平成25年度東京都予算等に対する要望書提出及びヒヤリング実施
- 7日 平成24年度第1回経営講習会(事業委員会)
 テーマ:「発注者との変更協議を有利に導く折衝力向上」
 講師:小澤 康宏 先生(株)建設経営サービス
- 7日 秋川流域委員会
- 14日 広報委員会218号編集発行
- 18日 総務委員会
- 18日 事業委員会
- 18日 技術安全委員会
- 19日 正副理事長会・理事会
- 21日 労働衛生週間説明会 午後2時 (西多摩分会)
 会場 羽村市ゆとろぎ2階講座室1
- 27日 秋川流域委員会

10月事業計画

- 3日 建設現場安全パトロール (西多摩分会)
- 12日 広報委員会 219号編集発行
- 14日 西建協・若手経営者の会 研修視察
- 16日 事業委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 理事会
- 25日 24年度 大型現場視察 (技術安全委員会)
 視察先 首都圏中央連絡自動車道(神奈川県区間)
 ①川尻トンネル工事 ②相模川橋梁工事
- 31日 西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会
 研修会及び第7回総会開催 午後2時～
 会場 福生市民会館 小ホール

◇ 日建学院青梅校(西建協)からのご案内 ◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』

- ◎2級建築士学科(日曜)コース 講義日程 12月中旬スタート
- ◎1級建築施工管理技士学科講座 講義日程 2月初旬スタート
- ◎1級土木施工管理技士学科講座 講義日程 3月中旬スタート

1級建築施工・1級土木施工は、学費が会社負担の場合「建設教育訓練助成金」が受けられ学費の50%(最高額10万円)が助成されます。

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(5年目)致します。会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

- *詳細説明は随時致します。
- *先ず下記までお問合せ下さい。
- *連絡先 青梅校(西建協)事務局 0428-22-6245 石川
 日建学院立川校 042-527-3291 担当:澤田